

- 全国的な木づかい運動の展開や森林環境譲与税の使途への関心など、木づかいに対する気運が高まっている中、本県では全県的な木づかい運動を加速化させる取組や、木材利用への県民理解を深めるための木育活動を着実に推進するため、人材育成も含めた推進体制の構築が必要となっている。
- このため、令和6年度は、木づかい県民会議において県産材の利用拡大等に顕著な功績があった者に対して感謝状を贈呈し、木づかい気運の醸成を図るとともに、優良事例の発表や、インターネットによる情報発信等を実施した。また、令和元年度から取り組んでいる幼保園を対象とした「みやざき木育プログラム」の実践や木育指導者の育成を行うなど、本県の良さを活かしたプログラム開発と人材育成に取り組んだ。

□ 事業内容

みやざきWOOD・LOVE推進事業

- ・木材の良さや利用することの意義について、県民の理解と認識を深め、木材利用に繋げるための木づかい県民会議を開催する。
- ・「木育ネットワーク部会」を活用し、木に触れる機会を提供するなど森林・林業、木材、環境について分かりやすく県民に伝える木育活動を実施する。

【事業費】14,686千円（うち譲与税7,501千円）

【実績】・みやざき木づかい県民会議の開催及び感謝状の贈呈

- ・木育プログラム開発及び木育推進体制の構築
- ・高校生を対象とした木材産業見学ツアーの実施
- ・14の団体、企業が行う木育活動を支援
- ・11の団体が行う木製遊具の導入整備への支援

□ 取組の背景

- ・全県的な木づかい運動を加速化させる取組が必要である。
- ・木材利用への県民理解を深める木育活動を着実に推進する必要がある。
- ・人材育成も含めた推進体制の構築が必要である。



（木づかい県民会議の開催）

□ 工夫・留意した点

- ・宮崎らしい自然、伝統、文化を活かした木育プログラムの開発を行った。
- ・木育を推進するため、木育かわら版の制作、配布を行った。

□ 取組の効果

- ・「みやざき木づかい」感謝状贈呈状を8者に贈呈し、取組事例等を県内の団体に周知することができた。
- ・木育プログラムリーフレットが完成し、木育マイスターを認定して活動を開始するなど、木育推進体制が構築できた。
- ・木育活動支援は、取組団体数が増加し、県民主体による木育をサポートすることができた。
- ・木製遊具導入整備への支援では、保育施設や児童クラブに導入し、日常で木材の良さをを感じるきっかけを作ることができた。

□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：200,856千円	②私有林人工林面積（※1）：230,240ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より